

平成 20 年 12 月 11 日

日本学術会議の活動に関する評価

石井 紫郎（幹事）
井口 洋夫
志村 令郎
立花 隆
辻 篤子
中根 千枝

日本学術会議の在り方については、中央省庁等改革の一環として行政改革会議において検討が行われたことを発端として様々な検討がなされ、その結果法律の改正等を経て、平成 17 年 10 月に、黒川清会長（当時）の下、新しい会員による第 20 期の活動が開始され、その第 20 期の活動も去る 9 月 30 日をもって一応の区切りを迎えた。

今般、日本学術会議は、新たに迎えた第 21 期の活動を充実させるため、外部の有識者による評価を実施することになった。評価の依頼を受けた我々は、日本学術会議の活動状況等に関する年次報告書を基に、会長、副会長、年次報告等検討分科会委員等と、日本学術会議のこの一年の活動状況等について意見交換する機会を持った。そしてここに、第 20 期における日本学術会議の活動状況等に関する評価及び今後の課題等を別紙のとおり取りまとめた。

これらの意見を今後の活動にいかし、日本学術会議が我が国の科学者コミュニティーの代表機関としてますます活躍していくことを期待している。

(別紙)

【全般的評価】

新生日本学術会議の活動も3年が過ぎ、第20期の活動も一応の区切りがついた。全般的に見れば、新制度での各種委員会等では、精力的な審議が行われ、改革の成果は得られたものと思われる。

例えば、日本開催は初となるG8サミットにおいて各国学術会議との共同声明を発出したり、代理懐胎について明確な方向付けを行うべき、という国民の声が高まっている状況の中で、法務大臣及び厚生労働大臣からの審議依頼に対し「生殖補助医療をめぐる諸問題に関する審議の依頼について(回答)」を回答してきている。また、日本学術会議の会員・連携会員が共有すべき基本的な目標、義務及び責任を対外的に宣言した「日本学術会議憲章」を公表するなど日本の科学者コミュニティの代表機関としての役割も担っているといえよう。

このように新生日本学術会議としての第20期は一定の評価を下せるものである。

その一方で、日本学術会議の会員自らが、会員を選考する方法に変更されたことに伴い、従来の登録学術研究団体を構成してきた学協会との関係が希薄になっている点や、新公益法人法の施行に伴い、学術団体を支援・強化するための新しい法人制度創設に向けた検討の必要性など、新たな課題も生じている。また、我が国における大学や学術研究機関による人材育成の問題等について議論し、社会に向けて提言することも求められてきている。

【個別意見】

(井口 洋夫)

国際活動を行う際の代表となる人材を育てる土台作りを日本学術会議にお願いしたい。そのための財政面を含めた予算構成を変えることが必要である。

また、大学における学生の幅広い教養の体得をめざす一般教養離れの是正と共に、教官の多忙による人材育成不足の解消について、日本学術会議が発言すべきである。

(志村 令郎)

学術基本法を早急に策定する必要があるが、そのためには、まず日本学術会議が中心となって学術基本法を策定し、関係方面に対し提言として示すことが大切である。

また、法人化後の国立大学法人や大学共同利用機関法人等の研究者が抱える

諸問題について、日本学術会議で議論し、問題点について如何に是正されるべきかを提言されることが望ましい。

(石井 紫郎)

学術基本法については日本学術会議が主体となって行う仕事である。

また、日本の大学の抱える問題への対応として、教授の人数を増やすべきである。そして、大学のタテ社会を無くすための研究が必要である。現在、研究室の単位（大きさ）が小さくなっている。そのため大学院生が接する範囲がより小さくなった状態で研究者になっていっている。研究室はおもしろいという認識がされなくなったので、大学の研究室の後継者不足を解決しなければ、日本は世界の学問の趨勢に取り残されてしまうであろう。そうならないための提言を日本学術会議は出すべきである。

(立花 隆)

現状では日本学術会議の位置付けがはっきりしていない。科学技術基本法などの国の大きな枠組みそのものに日本学術会議が加わっていくべきである。

また、オーストリアのアカデミーのように外国人も会員に選べるようにするなど、グローバルスタンダードとしてカウンシル的なものを日本学術会議は作るべきである。

(辻 篤子)

日本学術会議の活動は、メディアでの報道も少なく、社会的な認知度はまだまだ低い。予算を増やすためにも社会を見方につけるべきだ。

提言などのフォローアップは早めに行い、現実に応じた影響を与えたかを評価すべきである。

勧告、要望、声明などの違いは、外から見るとわかりづらい。

(中根 千枝)

日本学術会議憲章は短期間でよくできていると思う。

国立大学の法人化のメリット・デメリットをはっきりと書いた提言を出すべきである。